



日本小児病理研究会 会報51号

平成22年6月16日(水)

1. ごあいさつ

総務幹事 横山繁昭(北海道立子ども総合医療・療育センター)

春の病理学会総会も終わり、今は初夏を迎え、ここ札幌は未だ4月のような気温が続いておりましたが「よさこいソーラン」につられて、今週からやっと暖かくなりました。本州はいよいよ梅雨入りのようですね。

病理学会でのコンパニオンミーティングは、初日の評議員会の後の夜19時20分からの開催ということで人が全く集まらないのでは？と心配しましたが、その割にはよく集まって頂き、大変よい反響を頂きました。本学会員の皆様のお陰と感謝する次第です。とりわけ座長の井上先生および九州からの高嶋先生をはじめとして担当の講師の諸先生、そして事務局の松岡先生、中川先生には厚く御礼申し上げます。また来年も継続して魅力のあるテーマでコンパニオンミーティングを実現しなくてはと思っております。締め切りが8月19日となっておりますがそれまでにテーマと仮の演者を提出しなければならないようです。何かアイデアがあれば学術担当幹事の井上先生か私にご連絡くだされば幸いです。

さて、今年9月4日(土)開催の第30回日本小児病理研究会(井上 健会長、大阪市立総合医療センター)は、久々の大阪開催で楽しみです。主題は「小児期の感染症」で何度も同じテーマがあったような気がしましたが、調べてみると1回のみで、1987年に京都で行われた第8回日本小児病理研究会(古田睦広会長)以来です。「古きを訪ねて新しきを知る」のところで、最近の様変わりなどと、意欲的に演題をご応募下さい。佐多徹太郎先生のご講演も楽しみです。新型インフルエンザの最新データもあると思います。主題以外にも沢山の演題をご応募下さい、また、今年は学会発足30周年という節目で、この会の歴史とともに多大な貢献をなさってきて現在も活躍されている小林庸次先生の「記念講演」が楽しみです。「小児病理セミナー」および前日開催の「2010年小児腫瘍分類委員会症例検討会」も多数のご参加が期待されます。詳細は本「会報」および「病理と臨床」ならびに病理学会会報に掲載されます。よろしくお願い致します。

2. 第30回日本小児病理研究会のおしらせ

世話人 井上 健 (大阪市立総合医療センター 病理部)

日時：2010年9月4日(土) 9時～15時(予定)

場所：大阪市立総合医療センター さくらホール

交通：JR大阪環状線桜ノ宮駅下車 徒歩約7分

もしくは 大阪地下鉄谷町線都島駅下車 徒歩約5分

参加費：3,000円

主題：周産期・小児期の感染症

特別講演：佐多徹太郎先生(国立感染症研究所・感染病理部部長)

「ウイルス感染症の病理：病態理解のために(仮題)」

教育講演：塩見正司先生(大阪市立総合医療センター・感染症センター)

「小児急性ウイルス感染症の重症合併症」

【演題申し込み】

演題名(主題か一般演題かを明記)、出題者、所属名、抄録(200字程度)を下記のアドレスにメールでご応募下さい。Mac使用についてはその旨御記載下さい。郵送にてお申し込みの場合は、抄録のCD-Rも添えてお送り下さい。

締め切り 2010年7月28日、必着

抄録送付先：

〒534-0021大阪市都島区都島本通2-13-22

大阪市立総合医療センター病理部 井上 健

3. 第7回小児病理セミナー「白血病とその類縁疾患」

主催：日本小児病理研究会
日時：2010年9月4日（土）
16時～18時30分（予定）
場所：大阪市立総合医療センター
さくらホール
対象：小児科医、血液内科医、病理医
ほか興味のある方（先着50名）
参加費：3,000円（ハンドアウト、軽食）（小児病理研究会参加者は2,000円）
参加申し込み・問い合わせ先：
〒534-0021大阪市都島区都島本通2-13-22
大阪市立総合医療センター病理部 井上 健
電話：(06)6929-1221(内6155)
E-mail：m1657676@msic.med.osaka-cu.ac.jp

テーマ：白血病とその類縁疾患
1. 稲葉 亨先生（京都府立医科大学 感染制御・検査医学）
骨髄塗抹標本鏡検時のポイントー急性白血病およびMDSを中心に
2. 宮内 潤先生（東京歯科大学市川総合病院臨床検査科）
骨髄生検病理標本の見方宮内 潤先生（東京歯科大学市川総合病院臨床検査科）
3. 宮内 潤先生（東京歯科大学市川総合病院臨床検査科）
ダウン症におけるtransient abnormal myelopoiesis (TAM)の最近の知見：芽球の増殖・分化とGATA1を中心に
4. 原 純一先生（大阪市立総合医療センター・小児医療センター血液腫瘍科）
MLL関連乳児白血病をめぐる話題

4. 小児病理研究会サテライトミーティング

研究会に先立って午前8時よりサテライトミーティングとして胎盤病理のモーニングカンファレンスを開催します。奮ってご参加下さい。
演題1：一卵性双子における一児のみの胎児水腫 国立成育医療研究センター 松岡健太郎
演題2：Chorangiosisの診断のポイント 都立大塚病院 有澤正義
演題3：臍帯動脈血栓症の一例 宮崎大学病理学講座 佐藤勇一郎ほか

会費納入のお願い

本会規約により、本会会費は年間5,000円となっています。納入状況に応じて、お知らせを入れております。下記振り込み口座にお振り込み願います。会費について不明の点は事務局 松岡までご連絡ください。

ゆうちょ銀行

【店名】008
【店番】008
【預金種目】普通預金
【口座番号】8661284

5. 地区集会のお知らせ

第116回 関東東海地区小児病理カンファレンス

2010年10月8日(金)午後5時30分から
於；国立成育医療研究センター
世話人；国立成育医療研究センター病理診断部病理診断科
中澤温子先生

第63回 関西小児病理研究会

2010年6月26日(土)午後1時30分から
於；大阪市立総合医療センター大会議室
世話人；
兵庫県立こども病院
吉田牧子先生

6. 事務局より

◇平成22年4月より、国立成育医療センターが独立行政法人国立成育医療研究センターとなりました。これに伴い病理診断部が新規に開設され、病理診断部病理診断科となりました◇会員数の減少に伴い、運営は厳しいものの工夫で乗り切っていきたいと思っております◇日本病理学会総会におけるコンパニオンミーティングですが、今後も継続して行えるよう、会員のみなさまのご協力をいただきたく存じます◇第30回小児病理研究会でお会いできることを楽しみにしております◇日本小児病理研究会会報は年3回(冬、春、秋)発行、会員全員に送付し、ホームページにも掲載しています。会報、ホームページを通じて、会員相互の情報交換、連絡を行いたい方はE-mailまたはFAXにて事務局へご連絡ください。

日本小児病理研究会会報50号
平成22年6月15日発行
編集・発行 松岡健太郎

日本小児病理研究会事務局
<http://www.ibmd.jp/~jspp/>
〒157-8535
東京都世田谷区大蔵2-10-1

国立成育医療研究センター
病理診断部病理診断科
TEL (03)3416-0181
FAX (03)5727-2879
E-mail
matsuoka-k@ncchd.go.jp